

厚生労働科学研究費補助金 エイズ対策研究事業
男性同性間のHIV感染対策とその評価に関する研究

平成18年度大阪における予防啓発の評価に関する研究
大阪クラブイベント参加者調査2006の結果

研究協力者:木村博和(横浜市南福祉保健センター)、鬼塚哲郎(京都産業大学/MASH大阪)
辻 宏幸、山田創平(エイズ予防財団/MASH大阪)、市川誠一(名古屋市立大学)

研究要旨

平成18年度までの大阪におけるゲイボランティアによるHIV予防啓発プロジェクトMASH大阪による各プログラムの効果を評価するため、2006年8月に大阪市北区堂山地区のゲイ向けクラブイベントの参加者に対して質問紙調査を行い、HIV/STI予防に関する知識や意識、行動と予防啓発プログラムへの接触状況について調査した。質問紙の総回収数は725件、このうち回答内容からMSMと判定した687人(平均年齢29.2歳)を分析対象とした。

予防知識の正答率は、延命治療が可能56%、検査のウインドウ期77%、STI感染の影響69%、梅毒の感染危険82%、油性潤滑剤によるコンドーム易破損性51%であり、いずれも前回2004年よりやや低下傾向を示していた。過去6か月間のアナルセックス時のコンドーム常用率は、特定相手との挿入時では61%、不特定相手との挿入時67%であり、前回調査より上昇傾向を示した。過去1年間のコンドーム購入経験は54%で、前回調査より増加していた。過去1年間の抗体検査の受検率は38%で、これも前回調査より増加傾向を示した。しかしMASH大阪の予防啓発プログラムへの接触状況をみるとドロップインセンターの認知度34%、コミュニティペーパーの入手率33%で、前回より減少傾向を示した。2005年の屋外型啓発イベントの認知度は53%と他のプログラムより高く、特に20代前半と30代前半で認知度が高かった。今回の調査を年齢別にみると20代前半と30代前半では予防プログラムの認知度や知識の正答率は高かったがコンドーム常用率や抗体検査の受検率が低かった。20代後半では逆に常用率や受検率が高いのにプログラム認知度は低かった。

以上より予防啓発プログラムと予防行動との関連について検討すると、20代前半でプログラム認知度と短期的なコンドーム使用率との関連がみられたものの、全体的には両者の間に明らかな関連を示唆する結果は得られなかった。今後さらに検討を加え予防啓発の抑制要因について明確する必要があると考えられる。

A. 背景と目的

大阪ではゲイボランティアによる大阪地域のMSM(men who have sex with men)を対象としたHIV/STI予防啓発プロジェクトMASH大

阪が、北区堂山のドロップインセンター(distaディスタ)を活動拠点として、さまざまな予防啓発プログラム展開してきている。その効果や影響については、同地区のゲイ向けクラブイベント参加者へ

の質問紙調査を毎年実施し、その予防に関する知識や意識、行動の動向を把握することによって検討してきた。

本研究班においても過去のクラブ調査と同様の調査を行い、年齢別の知識や意識、行動、プログラム接触状況と、その年次推移を把握ことにより、2005年に実施した予防啓発プログラムの効果、影響について検討したので、その結果を報告する。

B. 研究方法

調査対象者は2006年8月に大阪市北区堂山地区のクラブ2か所で開催されたゲイ向けクラブイベント(合計8回)の参加者とした。調査方法は無記名の自記式質問紙調査とした。手順はイベント会場内またその周辺において調査員が調査の趣旨と内容をクラブイベント参加者に口頭で説明、協力を依頼し、同意の得られた人にその場で質問紙を配布し、回答を依頼した。回答を記入した質問紙は当日その会場内で調査員が回収した。回答者には謝礼としてドリンクチケットを配布した。回収時には回答者のプライバシーに配慮し、無回答や誤回答の点検を含め調査員による回答内容の点検は行わなかった。調査8回の回収総数は725件であったが、イベント参加者の総数は把握していない。

質問紙は本研究班で独自に作成した無記名の自記式質問紙(添付資料参照)を使用した。調査項目はHIV/STI予防の知識6問、HIV予防の意識3問、性行動3問、予防行動3問、受検行動1問、MASH大阪の予防啓発関係4問、人口統計学的項目6問の全26問からなっていた。

分析対象者は、重複回答者を除外した上で、①自認するセクシャリティに関する質問にゲイまたはバイセクシャル、わからない、その他のいずれ

かと回答した人、あるいは②性行動に関する質問で過去に男性とセックスの経験ありと回答した人687人とした。

対象者を年齢により4グループに分類し、各年齢層間の回答の分布を比較することにより各年齢層の特徴を明らかにした。各質問と年齢との関連の有無を検討する際には統計的検定の有意確率(おおむね $p < 0.1$)を指標として考慮した。統計的検定には質問の回答が名義尺度のときには χ^2 検定を、順序尺度のときにはMann-WhitneyのU検定やKruskal-Wallis検定を行なった。回答の集計、統計的検定にはパソコン用統計解析パッケージHALBAU for Windows Ver. 5.44(現代数学社、京都、2002年)を使用した。

C. 研究結果

1. 回答者の属性と施設等の利用状況

回答者の平均年齢は29.2歳(標準偏差6.2歳)であった。年齢階級別にみると、24歳以下が27%、25~29歳26%、30~34歳24%、35~44歳22%、45歳以上2%であった。

回答者の居住地等の属性と、過去6か月間の施設などの利用状況について年齢階級別にみたものを表1に示す。表中の総数は45歳以上の10人と年齢不明の11人を含む687人の回答状況である。回答者の居住地は大阪府内55%、大阪府を除く近畿23%であった。自認するセクシャリティ(性的指向)はゲイまたはバイセクシャルが全体の99%を占めていた。年齢別にみると24歳以下ではバイセクシャルがやや多かった。

堂山地区に行く頻度は、年に1回以下6%、年に2~10回21%、月に1~3回40%、週に1回以上33%であり、月に1回以上訪れると回答した人が7割以上であった。年齢別にみると35歳以上では堂山へ行く頻度がやや少ない傾向がみられた。

過去6か月間の施設などの利用状況をみると、全体の約8割がゲイバーを、6割弱がゲイナイトを、約5割がミクシィを、約4割がハッテン場や出会い系サイトを利用していた。年齢別にみるとゲイナイトや出会い系サイト、ミクシィ、マンション系ハッテン場の利用が34歳以下の若い世代に多かった。特に携帯電話による出会い系サイトの利用は29歳以下に多かった。一方サウナ系ハッテン場の利用は30歳以上で多かった。ゲイショップの利用は24歳以下と30代前半で多かった。

2. MASH大阪の啓発プログラムへの接触状況

MASH大阪が展開する予防啓発プログラムへの接触状況について表2に示す。全体の約3割がドロップインセンター(distaディスタ)を、約5割が屋外型啓発イベント(PLuS+2005)を知っている(「聞いたことがある」と「行ったことがある」の合計)と回答した。また約3割がコミュニティペーパー(SaL+サルポジ)を過去1年間に受け取ったことがあると回答した。年齢との関係を見ると、ドロップインセンターの認知率は若い年齢層ほど高く、コミュニティペーパーの入手率は24歳以下と30代前半の年齢層で高かった。

ドロップインセンターで開催するプログラムのいずれかを知っていると回答したのは25%、その内訳は中国茶カフェ、手話教室、STI勉強会(Café Chat カフェチャット)、友達作り支援プログラム(Stepステップ)、ハングル語教室の順であった。年齢別にみると、友達作り支援プログラムについて知っている人が24歳以下の若い人たちに多くみられた。中国茶カフェや手話教室、ハングル語教室の認知度は24歳以下と30代前半の年齢層で高かった。

コミュニティペーパーの入手先は、ゲイバーが大部分を占め、その他ではゲイショップやディスタ

などであった。年齢別にみると35歳以上ではゲイバーがほとんどであったが、24歳以下や30代前半ではゲイバーのほかゲイショップでの入手も多かった。ドロップインセンターで入手した人は24歳以下で多かった。

3. HIV/STI予防の知識と意識

回答者のHIV/STI予防に関する知識や意識についての集計結果を表3に示す。正答率が比較的高かったのは「梅毒の感染しやすさ」82%、「抗体検査のウインドウ期」77%、「STI感染の影響によるHIV感染しやすさ」69%であった。逆に低かったのは「HIV感染症が延命治療できるようになったこと」57%、「即日検査や自宅用検査キットでは感染していなくても誤って陽性と判定されることがあること」53%、「コンドームを油性潤滑剤と併用すると破けやすくなること」の51%であった。

年齢群間で正答率に違いが見られたのは「延命治療」と「STI感染の影響」であった。「延命治療」の正答率は20代後半が他の年齢層より10ポイント以上低く、「STI感染の影響」では30代前半が10ポイント以上高かった。

回答者を過去6か月間のアナルセックスの経験の有無から経験者(n=515人)と非経験者(n=151人)に分類し6問中の正答数を比較すると経験者の方が高い傾向を認めた(経験者のU統計量:44319.5、非経験者のU統計量:33445.5、 $p=0.00768$)。各々の正答率を比較すると経験者の方が「コンドームの耐性」(経験者54%、非経験者40%、 $p=0.00391$)や「即日検査の誤判定」(経験者54%、非経験者46%、 $p=0.10081$)で正答率が高い傾向がみられた。

過去の性行動を振り返ってHIVに感染する可能性があったと思うかという問に対して、約2割の回答者が「十分可能性があった」と回答した。また

アナルセックス経験者の方が「可能性があった」と回答する人が多く(経験者22%、非経験者13%、 $p=0.02315$)、感染リスクの自認が強い傾向がみられた。回答者の身近での感染者の存在の認識については約5割の人が身近に感じている(「いる」または「いると思う」の合計)と回答した。またアナルセックス経験者の方が存在を身近に感じている人が多い傾向が認められた(経験者52%、非経験者36%、 $p=0.00824$)。感染リスクの自認や身近な感染者の存在の認識と年齢との間に特徴的な関係は認められなかった。

4. コンドーム使用状況について

過去6か月間のアナルセックスの経験とコンドーム使用状況、購入経験について表4に示す。

過去6か月間にアナルセックスを経験した人は全体の約8割、年齢との関連をみると、若い人ほど経験のあった人が多かった。相手人数は20代後半で5人以上と回答した人が多い傾向がみられた。

相手・行為別のコンドームの使用状況についてみると、特定相手との挿入(タチ)時の常用率(「毎回使った」人の割合)が61%、特定相手との被挿入(ウケ)時が60%、不特定相手(その場限りの相手)との挿入(タチ)時の常用率67%、不特定相手との被挿入(ウケ)時が66%であった。また「まったく使わなかった」の割合は特定相手との挿入時、被挿入時とも15%、不特定相手との場合は挿入時、被挿入時とも9%であり、コンドーム使用頻度は特定相手より不特定相手の方が高かった。また「最後にしたアナルセックス」でのコンドーム使用でも特定の相手との場合よりその場限りの人との場合の方が使用率(「使った」と回答した人の割合)は高かった。年齢との関係をみると、不特定相手との挿入側での常用率が20代後半で多かった。

また特定相手との「最後のアナルセックス」で使用率は若い年齢層ほど多くなる傾向がみられた。

コンドーム購入経験についてみると、アナルセックス経験者では半数以上が「ある」と回答し、その購入先はドラッグストア、コンビニ、ゲイショップの順であった。購入経験と年齢との間には特徴的な関係はみられなかった。

5. 抗体検査の受検状況と相談相手について

HIV抗体検査の受検経験とHIV/STIの相談相手に関する集計結果を表5に示す。

過去1年間の抗体検査の受検率は38%、受検場所では「保健所・保健センター」、「病院・クリニック」が多かった。アナルセックス経験者での受検率はやや多い傾向がみられた。年齢との関係を見ると20代後半の受検率がやや高い傾向がみられ、その受検場所は「保健所・保健センター」が多かった。

HIV/STIに関する相談相手についてみると「保健所・保健センター」、「病院・クリニック」、「友人・知人」の順であり、医学的な専門機関だけでなく身近な人も相談相手として考えている人が多かった。相談相手と年齢との間には特に関連を認めなかった。

6. 大阪クラブ調査の年次推移

大阪地区の過去3回のクラブ調査の結果と今回の結果を比較したものを表6に示す。

分析対象者数は2002年の1.7倍、2004年より約100人増加していた。その平均年齢は4年前の2002年の調査より1歳高くなっていた。居住地は過去3回の調査より大阪府内の割合がやや減少し、近畿地域以外がやや増加していた。

MASH大阪の啓発プログラムへの接触状況についてみると、ドロップインセンターを知っている

人（「聞いたことがある」人と「行ったことがある」人の合計）やコミュニティペーパーを入手したことがある人は前回2004年の調査より減少していた。予防に関する知識についてみると、いずれの事項の正答率も2004年より低下していた。

コンドームの使用状況等についてみると、特定相手との場合も不特定相手との場合も「毎回使った」人が増加し、「全く使わなかった」人や「半々」の人は減少していた。コンドームの購入についても「買ったことがある」人は年々増加していた。抗体検査の受検率は、2002年から2003年にかけて減少したものの（MASH大阪による臨時検査イベントが終了した影響によるものと考えられるが）、2004年以降は増加に転じていた。

D. 考察

大阪ではゲイボランティアによる予防啓発プロジェクトMASH大阪の展開する予防啓発プログラムの効果を評価し、また新たな予防啓発プログラムを模索するため、1999年から2004年までの間、毎年、北区堂山地区のクラブイベント参加者を対象とした質問紙調査を実施してきた。クラブ利用者という特定の集団であるが毎年同様のMSM集団の予防に関する知識や意識、行動を調査し、その年次推移を比較、検討することにより、各プログラムの有効性について検討してきた。ただ2005年は大阪市内のゲイバーの顧客を対象とした大規模調査や屋外型啓発イベントを実施したことから、クラブイベントでの調査は実施しなかったため、今回のクラブ調査は2年ぶりとなる。調査の実施手順は過去の調査結果との比較可能性を確保するため、大きく異なる点はない。調査を行ったクラブ数は対象者数を増やす目的からそれまでの1か所から2か所に増やしている。質問紙は2001年までA4版2ページで40問程度のものを使用し

ていたが、協力を取りつけて配布した質問紙が回収できなかつたり、無回答や白紙回答もかなり存在したため、2002年からは25問程度に質問数を減らしている。それ以降今回の質問紙も含めて質問数はほとんど変わっていない。質問内容は各年次のプログラムの展開に応じた若干の変更点はあるが、全体的に大きな違いはない。今回の調査で変更した点はドロップインセンターで開催する各プログラムや屋外型啓発イベントへの接触状況、インターネットの利用状況、堂山地区への来所頻度、即日検査や自宅検査キットに関する知識、HIV/STIに関する相談相手についての質問を追加したこと、脱法ドラッグについての質問を削除したことなどである。堂山への来所頻度の調査は大阪地域のMSM人口を推計する基礎資料とするためでもある。

今回の調査の目的は年齢階級別の集計結果から各年齢層へのプログラムの影響について検討すること、今回の結果を過去の調査結果と比較しその動向を把握することにある。

年齢別の集計結果をみると二つの特徴がみられる。一つは年齢の若い人たちほど、ゲイナイトや出会い系サイトなど一部施設の利用率が高く、ドロップインセンターの認知度や特定相手との最後のアナルセックスでコンドーム使用率つまり短期的なコンドーム使用率が高かったこと。つまり20代前半を中心とする若い年齢層では一部の予防プログラムへの接触状況と限られた状況でのコンドーム使用との間に関連が示唆されたことである。

もう一つの特徴は、20代後半の年齢群でコミュニティペーパー入手率やドロップインセンターでの各プログラム認知率が低く、「延命治療が可能なこと」や「STI感染のHIV感染への影響」の正答率が低かったにもかかわらず、不特定相手とのア

ナルセックスでコンドーム常用率が高かったこと。また抗体検査の受検率も高く、しかも受検場所は「病院・クリニック」よりも「保健所・保健センター」が多かったことである。性行動についてみてもその他の年齢層よりナルセックスの相手人数も多い傾向がみられたことである。つまりこの年齢層には性行動が活発な人が多く、啓発プログラムへの接触度も低く、HIVやSTIに関する知識が少ない人が多いにもかかわらず、コンドームの常用者や抗体検査の受検者が多かったことが窺われるということである。しかも「保健所・保健センター」での受検が多いことから性感染症に伴う受検率の増加の可能性も考えにくい。

年次推移についても同様の傾向がみられる。つまり予防啓発プログラムへの接触度や予防知識の正答率が過去の調査結果より減少傾向を示したにもかかわらず、コンドーム常用率や抗体検査の受検率は増加傾向を示していたのである。これらの関係を整理する、啓発プログラムや知識の普及と予防行動の変化との間に直接的な関連が明らかではなく、場合によってはそれらが乖離している可能性も考えられる。

今回の分析対象者の20代後半の年齢層に何か特殊な状況があるのか本分析結果からは明らかにはならなかった。また少なくとも20代前半を中心とする比較的若い年齢層では一部の予防行動と啓発プログラムの間に関連を示唆する結果が得られた。しかし今回の調査では、前回2004年

の調査で認められたコミュニティペーパーとコンドーム常用との関連のように啓発プログラムと予防行動との関連を示唆する結果は得られなかった。今後詳細な分析を加えコミュニティペーパーやドロップインセンターでの啓発プログラムと予防行動との関連について検討し、その関連を抑制する要因の有無について十分に検討していく必要があるのではないかと思われる。

E. まとめ

MASH大阪によるHIV／STI予防啓発プログラムの効果について評価するため、北区堂山地区のクラブイベント参加者に質問紙調査を行った。予防に関する知識や意識、行動とプログラムへの接触状況については過去の同様の調査結果と比較し、また年齢階級別の集計を行ない検討した。その結果20代後半の年齢層でプログラム接触度や予防知識の正答率が低かったにもかかわらず、コンドーム常用率や抗体検査受検率は高い傾向が認められ、啓発プログラムへの接触と予防行動との間に関連を認めなかった。今後、詳細な分析を加えることによってその抑制要因について検討していく必要があるであろう。

表1 回答者の属性と施設等の利用状況

	総数* (%)	～24歳 (%)	25～29歳 (%)	30～34歳 (%)	35～44歳 (%)	p値#	
調査対象のクラブイベント							
イベントA	52 (7.6)	17 (9.4)	13 (7.4)	13 (7.9)	6 (4.1)	<0.00001	
イベントB	113 (16.4)	62 (34.4)	34 (19.4)	11 (6.7)	0 (0)		
イベントC	168 (24.5)	20 (11.1)	32 (18.3)	55 (33.5)	58 (39.5)		
イベントD	94 (13.7)	6 (3.3)	15 (8.6)	39 (23.8)	32 (21.8)		
イベントE	72 (10.5)	6 (3.3)	26 (14.9)	9 (5.5)	28 (19.0)		
イベントF	61 (8.9)	14 (7.8)	20 (11.4)	15 (9.1)	12 (8.2)		
イベントG	43 (6.3)	17 (9.4)	9 (5.1)	9 (5.5)	7 (4.8)		
イベントH	84 (12.2)	38 (21.1)	26 (14.9)	13 (7.9)	4 (2.7)		
合計	687 (100)	180 (100)	175 (100)	164 (100)	147 (100)		
過去のクラブ調査への回答経験							
ない	607 (88.6)	164 (91.1)	153 (87.9)	138 (84.7)	134 (91.2)	0.24333	
昨年以前に回答経験あり	57 (8.3)	15 (8.3)	12 (6.9)	18 (11.0)	9 (6.1)		
わからない	21 (3.1)	1 (0.6)	7 (4.0)	6 (3.7)	4 (2.7)		
今年は○回目	0 (0.0)	0 (0)	2 (1.1)	1 (0.6)	0 (0)		
合計	685 (100)	180 (100)	174 (100)	163 (100)	147 (100)		
居住地							
大阪	370 (54.8)	97 (53.9)	100 (57.5)	89 (54.3)	78 (53.1)	0.78964	
近畿(大阪を除く)	152 (22.5)	47 (26.1)	34 (19.5)	35 (21.3)	33 (22.4)		
その他	153 (22.7)	36 (20.0)	40 (23.0)	40 (24.4)	36 (24.5)		
合計	675 (100)	180 (100)	174 (100)	164 (100)	147 (100)		
セクシャリティ							
ゲイ	588 (86.0)	143 (79.4)	153 (87.4)	146 (89.6)	131 (89.1)	0.02055	
バイセクシャル	87 (12.7)	34 (18.9)	21 (12.0)	16 (9.8)	14 (9.5)		
わからない	5 (0.7)	0 (0)	1 (0.6)	1 (0.6)	2 (1.4)		
その他	4 (0.6)	3 (1.7)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
合計	684 (100)	180 (100)	175 (100)	163 (100)	147 (100)		
堂山へ行く頻度(不明・無回答35人を除く)							
年に1回未満	1 (0.2)	0 (0)	0 (0)	1 (0.6)	0 (0)	0.00191	
年に1回	37 (5.7)	11 (6.3)	5 (3.0)	9 (5.7)	12 (8.8)		
年に2回	40 (6.1)	5 (2.9)	7 (4.2)	11 (7.0)	17 (12.4)	0.18871 KW	
年に3回	34 (5.2)	9 (5.2)	11 (6.7)	7 (4.5)	7 (5.1)		
年に4回	16 (2.5)	9 (5.2)	1 (0.6)	3 (1.9)	3 (2.2)		
年に5回	23 (3.5)	4 (2.3)	5 (3.0)	6 (3.8)	7 (5.1)		
年に6回	13 (2.0)	4 (2.3)	4 (2.4)	1 (0.6)	3 (2.2)		
年に10回	9 (1.4)	2 (1.1)	2 (1.2)	1 (0.6)	4 (2.9)		
月に1回	102 (15.6)	23 (13.2)	38 (23.0)	24 (15.3)	16 (11.7)		
月に2回	110 (16.9)	28 (16.1)	32 (19.4)	34 (21.7)	10 (7.3)		
月に3回	51 (7.8)	12 (6.9)	11 (6.7)	12 (7.6)	12 (8.8)		
週に1回	120 (18.4)	34 (19.5)	27 (16.4)	34 (21.7)	24 (17.5)		
週に2回	44 (6.7)	12 (6.9)	10 (6.1)	6 (3.8)	14 (10.2)		
週に3回	28 (4.3)	11 (6.3)	6 (3.6)	4 (2.5)	4 (2.9)		
週に4回	7 (1.1)	4 (2.3)	0 (0)	3 (1.9)	0 (0)		
週に5回	8 (1.2)	1 (0.6)	5 (3.0)	1 (0.6)	1 (0.7)		
週に6回	9 (1.4)	5 (2.9)	1 (0.6)	0 (0)	3 (2.2)		
合計	652 (100)	174 (100)	165 (100)	157 (100)	137 (100)		
堂山へ行く頻度(不明・無回答35人を除く、再掲)							
年に1～10回	173 (26.5)	35 (25.2)	35 (21.2)	39 (24.8)	53 (38.7)	0.00602	
月に1～3回	263 (40.3)	63 (36.2)	81 (49.1)	70 (44.6)	38 (27.7)		
週に1～6回	216 (33.1)	67 (38.5)	49 (29.7)	48 (30.6)	46 (33.6)		
合計	652 (100)	174 (100)	165 (100)	157 (100)	137 (100)		
過去6か月間の利用施設の有無							
利用あり	659 (96.6)	173 (96.1)	166 (96.0)	158 (96.3)	144 (98)	0.25258 KW	
利用なし	23 (3.4)	7 (3.9)	7 (4.0)	6 (3.7)	3 (2)		
合計	682 (100)	180 (100)	173 (100)	164 (100)	147 (100)		
利用施設の内訳							
ゲイバー	552 (80.9)	146 (81.1)	134 (77.5)	138 (84.1)	119 (81.0)	0.48466	
ゲイナイト	387 (56.7)	107 (59.4)	107 (61.8)	91 (55.5)	68 (46.3)		
マンション系ハッテン場	119 (17.4)	35 (19.4)	36 (20.8)	29 (17.7)	16 (10.9)		
サウナ系ハッテン場	200 (29.3)	44 (24.4)	46 (26.6)	57 (34.8)	50 (34.0)		
その他のハッテン場	46 (6.7)	14 (7.8)	13 (7.5)	6 (3.7)	11 (7.5)		
ゲイショップ	191 (28.0)	58 (32.2)	37 (21.4)	53 (32.3)	41 (27.9)		
mixi(ミクシィ)	336 (49.3)	100 (55.6)	89 (51.4)	85 (51.8)	59 (40.1)		
PC用出会い系サイト	201 (29.5)	56 (31.1)	59 (34.1)	53 (32.3)	32 (21.8)		
携帯用出会い系サイト	157 (23.0)	54 (30.0)	42 (24.3)	33 (20.1)	27 (18.4)		
合計	682 (100)	180 (100)	173 (100)	164 (100)	147 (100)		
商業系ハッテン場(再掲)							
利用なし	410 (60.8)	116 (64.4)	107 (61.8)	90 (54.9)	89 (60.5)		0.34524
1種類	213 (31.6)	49 (27.2)	50 (28.9)	62 (37.8)	50 (34.0)		
2種類	51 (7.6)	15 (8.3)	16 (9.2)	12 (7.3)	8 (5.4)		
合計	674 (100)	180 (100)	173 (100)	164 (100)	147 (100)		
出会い系サイト(再掲)							
利用なし	408 (60.5)	100 (55.6)	102 (59.0)	97 (59.1)	99 (67.3)	0.09655	
1種類	176 (26.1)	50 (27.8)	41 (23.7)	48 (29.3)	37 (25.2)		
2種類	90 (13.4)	30 (16.7)	30 (17.3)	19 (11.6)	11 (7.5)		
合計	674 (100)	180 (100)	173 (100)	164 (100)	147 (100)		
インターネット利用							
利用しない	46 (6.8)	9 (5.0)	11 (6.5)	5 (3.1)	15 (10.3)	0.20209	
ときどき	199 (29.5)	55 (30.7)	54 (31.8)	46 (28.6)	38 (26.0)		
よく利用する	429 (63.6)	115 (64.2)	105 (61.8)	110 (68.3)	93 (63.7)		
合計	674 (100)	179 (100)	170 (100)	161 (100)	146 (100)		

*総数:年齢が45歳以上10人,不明11人を含む。 #p値:KWはKruskal-Wallis検定,その他はχ²検定による値。

表2 回答者のMSHA大阪のプログラムへの接触状況

	総数* (%)	～24歳 (%)	25～29歳 (%)	30～34歳 (%)	35～44歳 (%)	p値 [#]
dista(ディスタ)の認知						
初めて聞いた	454 (66.4)	100 (55.6)	118 (67.8)	105 (64.4)	116 (78.9)	<0.00001
聞いたことがある	123 (18.0)	29 (16.1)	31 (17.8)	37 (22.7)	23 (15.6)	
行ったことがある	107 (15.6)	51 (28.3)	25 (14.4)	21 (12.9)	8 (5.4)	
合計	684 (100)	180 (100)	174 (100)	163 (100)	147 (100)	
distaでのプログラムの認知						
知っている	166 (24.7)	53 (30.1)	38 (22.2)	45 (28.0)	26 (18.1)	0.05425
知らない	507 (75.3)	123 (69.9)	133 (77.8)	116 (72.0)	118 (81.9)	
合計	673 (100)	176 (100)	171 (100)	161 (100)	144 (100)	
プログラムの内訳						
CAFÉ CHAT	59 (35.5)	19 (35.8)	11 (28.9)	18 (40.0)	8 (5.6)	0.15987
step	51 (30.7)	29 (54.7)	9 (23.7)	10 (22.2)	3 (2.1)	0.00001
中国茶会(東方美男)	88 (53.0)	28 (52.8)	22 (57.9)	26 (57.8)	11 (7.6)	0.10298
CAMP	26 (15.7)	11 (20.8)	4 (10.5)	8 (17.8)	3 (2.1)	0.14883
Salon de Oni	26 (15.7)	11 (20.8)	4 (10.5)	8 (17.8)	3 (2.1)	0.14883
手話入門教室	62 (37.3)	24 (45.3)	11 (28.9)	19 (42.2)	6 (4.2)	0.00983
ハングル教室	50 (30.1)	20 (37.7)	9 (23.7)	13 (28.9)	7 (4.9)	0.08849
MASH web	44 (26.5)	13 (24.5)	7 (18.4)	12 (26.7)	12 (8.3)	0.43499
合計(プログラム知っている)	166 (100)	53 (100)	38 (100)	45 (100)	144 (100)	
PLuS+2005の認知						
初めて聞いた	321 (47.0)	76 (42.5)	84 (48.3)	70 (42.9)	78 (53.4)	0.29479
聞いたことがある	229 (33.5)	61 (34.1)	62 (35.6)	56 (34.4)	42 (28.8)	0.12578 KW
行ったことがある	133 (19.5)	42 (23.5)	28 (16.1)	37 (22.7)	26 (17.8)	
合計	683 (100)	179 (100)	174 (100)	163 (100)	146 (100)	
過去1年間のSaL+の入手状況						
入手経験あり	229 (33.4)	72 (40.0)	50 (28.7)	57 (35.0)	41 (27.9)	0.05962
なし	456 (66.6)	108 (60.0)	124 (71.3)	106 (65.0)	106 (72.1)	
合計	685 (100)	180 (100)	174 (100)	163 (100)	147 (100)	
SaL+の入手場所の内訳						
ゲイバー	160 (23.4)	49 (27.2)	37 (21.3)	34 (20.9)	32 (21.8)	0.44706
イベント会場	38 (5.5)	13 (7.2)	9 (5.2)	8 (4.9)	7 (4.8)	0.72811
ディスタ	42 (6.1)	27 (15.0)	5 (2.9)	8 (4.9)	2 (1.4)	<0.00001
ゲイショップ	45 (6.6)	18 (10.0)	8 (4.6)	15 (9.2)	4 (2.7)	0.02216
ハッテン場	34 (5.0)	11 (6.1)	7 (4.0)	10 (6.1)	6 (4.1)	0.68995
合計	685 (100)	180 (100)	174 (100)	163 (100)	147 (100)	

*総数: 年齢が45歳以上10人, 不明11人を含む。 #p値: KWはKruskal-Wallis検定, その他は χ^2 検定による値。

表3 回答者のHIV/STI予防に関する知識・意識

	総数* (%)	～24歳 (%)	25～29歳 (%)	30～34歳 (%)	35～44歳 (%)	p値 [#]
HIV/STI予防知識の正答率						
HIVの延命治療について	382 (55.6)	105 (58.3)	82 (46.9)	95 (57.9)	90 (61.2)	0.04208
検査ウィンドウ期について	530 (77.1)	139 (77.2)	142 (81.1)	124 (75.6)	110 (74.8)	0.52155
HIV迅速検査キットの誤反応	359 (52.3)	96 (53.3)	91 (52.0)	89 (54.3)	76 (51.7)	0.96412
コンドーム耐性について	350 (50.9)	87 (48.3)	83 (47.4)	96 (58.5)	75 (51.0)	0.16300
STI感染によるHIV易感染性	473 (68.9)	116 (64.4)	119 (68.0)	130 (79.3)	95 (64.6)	0.01050
梅毒の易感染性	560 (81.5)	153 (85.0)	143 (81.7)	137 (83.5)	112 (76.2)	0.19645
合計	687 (100)	180 (100)	175 (100)	164 (100)	147 (100)	
予防知識の正答率(アナルセックス経験者のみ再掲)						
HIVの延命治療について	292 (56.7)	78 (56.9)	63 (47.0)	75 (61.5)	67 (63.2)	0.04429
検査ウィンドウ期について	403 (78.3)	105 (76.6)	112 (83.6)	96 (78.7)	78 (73.6)	0.28870
HIV迅速検査キットの誤反応	280 (54.4)	74 (54.0)	74 (55.2)	71 (58.2)	54 (50.9)	0.74187
コンドーム耐性について	279 (54.2)	70 (51.1)	68 (50.7)	77 (63.1)	55 (51.9)	0.15650
STI感染によるHIV易感染性	336 (71.1)	92 (67.2)	93 (69.4)	100 (82.0)	71 (67)	0.02743
梅毒の易感染性	429 (83.3)	119 (86.9)	115 (85.8)	102 (83.6)	81 (76.4)	0.13705
合計	515 (100)	137 (100)	134 (100)	122 (100)	106 (100)	
HIV/STI予防の知識の正答数						
6間	118 (17.2)	22 (12.2)	31 (17.7)	36 (22.0)	26 (17.7)	0.22291
5間	154 (22.4)	45 (25.0)	39 (22.3)	38 (23.2)	31 (21.1)	0.21565 KW
4間	162 (23.6)	51 (28.3)	29 (16.6)	42 (25.6)	34 (23.1)	
3間	130 (18.9)	35 (19.4)	38 (21.7)	23 (14.0)	28 (19.0)	
2間	54 (7.9)	12 (6.7)	21 (12.0)	10 (6.1)	9 (6.1)	
1間	31 (4.5)	6 (3.3)	7 (4.0)	8 (4.9)	10 (6.8)	
0間	38 (5.5)	9 (5.0)	10 (5.7)	7 (4.3)	9 (6.1)	
合計	687 (100)	180 (100)	175 (100)	164 (100)	147 (100)	
自身のエイズにかかる可能性						
絶対ない	74 (10.8)	24 (13.3)	20 (11.5)	8 (4.9)	17 (11.6)	0.51769
ほとんどない	212 (31.0)	52 (28.9)	50 (28.7)	54 (32.9)	50 (34.0)	
五分五分	169 (24.7)	47 (26.1)	44 (25.3)	42 (25.6)	33 (22.4)	
十分可能性がある	135 (19.8)	37 (20.6)	31 (17.8)	38 (23.2)	27 (18.4)	
わからない	93 (13.6)	20 (11.1)	29 (16.7)	22 (13.4)	20 (13.6)	
合計	683 (100)	180 (100)	174 (100)	164 (100)	147 (100)	
自身のエイズにかかる可能性(アナルセックス経験者のみ再掲)						
絶対ない	48 (9.3)	15 (10.9)	15 (11.2)	5 (4.1)	10 (9.4)	0.52792
ほとんどない	147 (28.5)	38 (27.7)	35 (26.1)	38 (31.1)	33 (31.1)	
五分五分	137 (26.6)	40 (29.2)	35 (26.1)	32 (26.2)	27 (25.5)	
十分可能性がある	112 (21.7)	30 (21.9)	25 (18.7)	34 (27.9)	21 (19.8)	
わからない	71 (13.8)	14 (10.2)	24 (17.9)	13 (10.7)	15 (14.1)	
合計	515 (100)	137 (100)	134 (100)	122 (100)	106 (100)	
身近なHIV感染者の存在						
いる	200 (29.4)	44 (24.9)	46 (26.6)	47 (28.7)	57 (38.8)	0.12320
いると思う	126 (18.5)	35 (19.8)	29 (16.8)	36 (22.0)	24 (16.3)	
いないと思う	118 (17.4)	30 (16.9)	27 (15.6)	26 (15.9)	31 (21.1)	
いない	176 (25.9)	50 (28.2)	54 (31.2)	41 (25.0)	25 (17.0)	
わからない	60 (8.8)	18 (10.2)	17 (9.8)	14 (8.5)	10 (6.8)	
合計	680 (100)	177 (100)	173 (100)	164 (100)	147 (100)	
身近な感染者の存在(アナルセックス経験者のみ再掲)						
いる	166 (32.6)	36 (26.7)	39 (29.5)	44 (36.1)	44 (41.5)	0.37394
いると思う	98 (19.3)	27 (20)	25 (18.9)	27 (22.1)	18 (17.0)	
いないと思う	81 (15.9)	22 (16.3)	19 (14.4)	17 (13.9)	20 (18.9)	
いない	123 (24.2)	36 (26.7)	38 (28.8)	25 (20.5)	18 (17.0)	
わからない	41 (8.1)	14 (10.4)	11 (8.3)	9 (7.4)	6 (5.7)	
合計	509 (100)	135 (100)	132 (100)	122 (100)	106 (100)	

*総数: 年齢が45歳以上10人, 不明11人を含む。 #p値: KWはKruskal-Wallis検定, その他は χ^2 検定による値。

表4 回答者の過去6か月間のアナルセックス時のコンドーム使用状況

	総数* (%)	～24歳 (%)	25～29歳 (%)	30～34歳 (%)	35～44歳 (%)	p値 [#]
過去6か月間のアナルセックス経験						
経験あり	515 (78.5)	137 (80.1)	134 (79.8)	122 (75.8)	106 (72.6)	0.33458
なし	151 (23.0)	34 (19.9)	34 (20.2)	39 (24.2)	40 (27.4)	
合計	656 (100)	171 (100)	168 (100)	161 (100)	146 (100)	
アナル相手人数						
1人	110 (21.4)	26 (19.1)	24 (18)	29 (23.8)	29 (27.1)	0.15603 KW
2～4人	120 (23.3)	39 (28.7)	23 (17.3)	31 (25.4)	21 (19.6)	
5人以上	100 (19.4)	27 (19.9)	35 (26.3)	19 (15.6)	17 (15.9)	
無回答	185 (35.9)	44 (32.4)	51 (38.3)	43 (35.2)	40 (37.4)	
合計	515 (100)	136 (100)	133 (100)	122 (100)	107 (100)	
特定相手(タチ)でのゴム使用状況						
無回答	19 (5.1)	5 (5.1)	5 (5.3)	3 (3.2)	3 (4.1)	0.40037
全く不使用	54 (14.6)	17 (17.2)	9 (9.6)	12 (12.9)	14 (19.2)	
不使用多い	15 (4.0)	4 (4.0)	5 (5.3)	5 (5.4)	0 (0)	0.19506 KW
半々	34 (9.2)	6 (6.1)	12 (12.8)	12 (12.9)	3 (4.1)	
使用多い	22 (5.9)	4 (4)	8 (8.5)	5 (5.4)	5 (6.8)	
毎回使った	227 (61.2)	63 (63.6)	55 (58.5)	56 (60.2)	48 (65.8)	
合計	371 (100)	99 (100)	94 (100)	93 (100)	73 (100)	
特定相手(ウケ)でのゴム使用状況						
無回答	25 (7.4)	8 (7.0)	4 (4.8)	5 (7.1)	5 (8.3)	0.87043
全く不使用	51 (15.1)	18 (15.8)	10 (11.9)	10 (14.3)	12 (20.0)	
不使用多い	10 (3.0)	6 (5.3)	2 (2.4)	2 (2.9)	0 (0)	0.96354 KW
半々	26 (7.7)	7 (6.1)	10 (11.9)	6 (8.6)	3 (5.0)	
使用多い	24 (7.1)	8 (7)	7 (8.3)	5 (7.1)	4 (6.7)	
毎回使った	201 (59.6)	67 (58.8)	51 (60.7)	42 (60.0)	36 (60.0)	
合計	337 (100)	114 (100)	84 (100)	70 (100)	60 (100)	
不特定相手(タチ)でのゴム使用状況						
無回答	20 (6.0)	6 (6.6)	4 (4.5)	3 (3.8)	4 (6.2)	0.06639
全く不使用	29 (8.7)	15 (16.5)	1 (1.1)	6 (7.5)	6 (9.2)	
不使用多い	12 (3.6)	3 (3.3)	3 (3.4)	5 (6.3)	0 (0)	0.92810 KW
半々	21 (6.3)	4 (4.4)	7 (8.0)	6 (7.5)	4 (6.2)	
使用多い	30 (9.0)	7 (7.7)	5 (5.7)	11 (13.8)	7 (10.8)	
毎回使った	223 (66.6)	56 (61.5)	68 (77.3)	49 (61.3)	44 (67.7)	
合計	335 (100)	91 (100)	88 (100)	80 (100)	65 (100)	
不特定相手(ウケ)でのゴム使用状況						
無回答	22 (7.1)	6 (5.9)	5 (6.2)	4 (5.9)	4 (7.8)	0.44902
全く不使用	27 (8.7)	15 (14.9)	3 (3.7)	3 (4.4)	5 (9.8)	
不使用多い	10 (3.2)	4 (4)	3 (3.7)	2 (2.9)	0 (0)	0.31676 KW
半々	20 (6.4)	6 (5.9)	7 (8.6)	2 (2.9)	3 (5.9)	
使用多い	28 (9.0)	9 (8.9)	6 (7.4)	9 (13.2)	4 (7.8)	
毎回使った	205 (65.7)	61 (60.4)	57 (70.4)	48 (70.6)	35 (68.6)	
合計	312 (100)	101 (100)	81 (100)	68 (100)	51 (100)	
コンドームの使用状況						
常用	289 (55.5)	77 (54.2)	73 (54.9)	66 (52.8)	67 (63.2)	0.39154
非常用	232 (44.5)	65 (45.8)	60 (45.1)	59 (47.2)	39 (36.8)	
合計	521 (100)	142 (100)	133 (100)	125 (100)	106 (100)	
最後のアナルでの特定相手とのゴム使用						
あり	156 (46.8)	56 (56.6)	41 (49.4)	30 (39.5)	68 (63)	0.09452
無回答・なし	177 (53.2)	43 (43.4)	42 (50.6)	46 (60.5)	40 (37)	
合計	333 (100)	99 (100)	83 (100)	76 (100)	108 (100)	
最後のアナルでの不特定相手とのゴム使用						
あり	163 (54.7)	37 (53.6)	43 (56.6)	40 (53.3)	25 (41)	0.82728
無回答・なし	135 (45.3)	32 (46.4)	33 (43.4)	35 (46.7)	36 (59)	
合計	298 (100)	69 (100)	76 (100)	75 (100)	61 (100)	
過去6か月間のコンドーム購入経験(アナルセックス経験者のみ再掲)						
購入した経験あり	276 (54.0)	72 (52.6)	72 (54.1)	70 (57.9)	41 (60.3)	0.97860
なし	235 (46.0)	65 (47.4)	61 (45.9)	51 (42.1)	27 (39.7)	
合計	511 (100)	137 (100)	133 (100)	121 (100)	68 (100)	
購入場所						
ドラッグストア等	141 (27.6)	38 (27.7)	33 (24.8)	35 (28.9)	33 (22.6)	0.78743
コンビニ等	69 (13.5)	22 (16.1)	17 (12.8)	18 (14.9)	17 (11.6)	
ゲイショップ	56 (11.0)	14 (10.2)	14 (10.5)	17 (14.0)	14 (9.6)	0.79907
ハッテン場	48 (9.4)	7 (5.1)	15 (11.3)	13 (10.7)	14 (9.6)	
合計	511 (100)	137 (100)	133 (100)	121 (100)	146 (100)	0.32108

*総数:年齢が45歳以上10人, 不明11人を含む。 #p値:KWはKruskal-Wallis検定, その他は χ^2 検定による値。

表5 回答者の過去1年間のエイズ検査の受検状況とHIV/STIに関する相談相手

	総数* (%)	～24歳 (%)	25～29歳 (%)	30～34歳 (%)	35～44歳 (%)	p値#
エイズ検査の受検経験						
受検した経験あり	256 (38.0)	64 (35.8)	78 (44.6)	59 (36.2)	47 (32.0)	0.11141
なし	428 (63.5)	115 (64.2)	97 (55.4)	104 (63.8)	100 (68.0)	
合計	674 (100)	179 (100)	175 (100)	163 (100)	147 (100)	
受検場所の内訳						
病院・クリニック	79 (11.7)	19 (10.6)	23 (13.1)	25 (15.3)	11 (7.5)	0.16077
保健所・保健センター	105 (15.6)	23 (12.8)	39 (22.3)	23 (14.1)	20 (13.6)	0.05550
木曜の夜間検査	5 (0.7)	0 (0.0)	2 (1.1)	2 (1.2)	1 (0.7)	0.52912
土曜午後の検査	19 (2.8)	7 (3.9)	3 (1.7)	2 (1.2)	6 (4.1)	0.25674
日曜午後の検査	21 (3.1)	7 (3.9)	6 (3.4)	6 (3.7)	2 (1.4)	0.55818
名古屋のイベント検査	20 (3.0)	6 (3.4)	5 (2.9)	5 (3.1)	4 (2.7)	0.98808
その他	15 (2.2)	4 (2.2)	5 (2.9)	1 (0.6)	5 (3.4)	0.36882
合計	674 (100)	179 (100)	175 (100)	163 (100)	147 (100)	
エイズ検査の受検経験(アナルセックス経験者のみ再掲)						
受検した経験あり	207 (40.4)	52 (38.2)	62 (46.3)	50 (41)	36 (34.0)	0.25941
なし	306 (59.6)	84 (61.8)	72 (53.7)	72 (59)	70 (66.0)	
合計	513 (100)	136 (100)	134 (100)	122 (100)	106 (100)	
受検場所の内訳(アナルセックス経験者のみ再掲)						
病院・クリニック	66 (12.9)	16 (11.8)	16 (11.9)	19 (15.6)	9 (8.5)	0.43872
保健所・保健センター	87 (17.0)	19 (14.0)	32 (23.9)	19 (15.6)	16 (15.1)	0.12541
木曜の夜間検査	5 (1.0)	0 (0.0)	2 (1.5)	2 (1.6)	1 (0.9)	0.53186
土曜午後の検査	16 (3.1)	7 (5.1)	3 (2.2)	2 (1.6)	4 (3.8)	0.37296
日曜午後の検査	16 (3.1)	5 (3.7)	4 (3.0)	6 (4.9)	1 (0.9)	0.38966
名古屋のイベント検査	16 (3.1)	3 (2.2)	5 (3.7)	5 (4.1)	3 (2.8)	0.82136
その他	14 (2.7)	4 (2.9)	4 (3.0)	1 (0.8)	5 (4.7)	0.36133
合計	513 (100)	136 (100)	134 (100)	122 (100)	106 (100)	
HIV/STIについて相談したい相手						
知り合いの医療関係者	91 (13.6)	21 (11.7)	21 (12.1)	28 (17.3)	20 (13.8)	0.42474
病院・クリニック	218 (32.5)	64 (35.6)	52 (29.9)	53 (32.7)	45 (31.0)	0.69338
保健所・保健センター	245 (36.5)	55 (30.6)	68 (39.1)	59 (36.4)	52 (35.9)	0.39704
distaのスタッフ	31 (4.6)	11 (6.1)	3 (1.7)	10 (6.2)	6 (4.1)	0.15366
電話相談	64 (9.5)	18 (10.0)	18 (10.3)	15 (9.3)	11 (7.6)	0.84380
友人・知人	174 (25.9)	52 (28.9)	42 (24.1)	40 (24.7)	37 (25.5)	0.73999
その他	11 (1.6)	5 (2.8)	1 (0.6)	3 (1.9)	2 (1.4)	0.43467
合計	671 (100)	180 (100)	174 (100)	162 (100)	145 (100)	
HIV/STIについて相談したい相手(アナルセックス経験者のみ再掲)						
知り合いの医療関係者	73 (14.3)	19 (13.9)	16 (11.9)	22 (18.0)	15 (14.4)	0.57608
病院・クリニック	172 (33.7)	51 (37.2)	42 (31.3)	41 (33.6)	35 (33.7)	0.78411
保健所・保健センター	185 (36.2)	43 (31.4)	55 (41.0)	42 (34.4)	38 (36.5)	0.40907
distaのスタッフ	25 (4.9)	10 (7.3)	1 (0.7)	7 (5.7)	6 (5.8)	0.06883
電話相談	44 (8.6)	12 (8.8)	12 (9.0)	13 (10.7)	5 (4.8)	0.45544
友人・知人	129 (25.2)	39 (28.5)	31 (23.1)	31 (25.4)	26 (25.0)	0.79117
その他	9 (1.8)	4 (2.9)	1 (0.7)	2 (1.6)	2 (1.9)	0.60864
合計	511 (100)	137 (100)	134 (100)	122 (100)	104 (100)	

*総数:年齢が45歳以上10人, 不明11人を含む. #p値:KWはKruskal-Wallis検定, その他は χ^2 検定による値.

表6 大阪地区のクラブ調査結果の推移

	2002年 (n=403)	2003年 (n=596)	2004年 (n=592)	2006年 (n=687)
平均年齢(標準偏差)	28.1 (6.3)	28.9 (5.4)	28.8 (6.1)	29.2 (6.4)
居住地				
大阪	60.2	61.4	61.5	54.8
近畿(大阪を除く)	25.3	19.2	25.0	22.5
その他	14.5	19.4	13.5	22.7
利用施設等				
ゲイバー	-	80.4	83.4	80.9
ゲイナイト	40.4	33.1	71.0	56.7
商業系ハッテン場	44.4	45.0	51.0	39.2
サウナ系ハッテン場	33.3	35.4	40.3	29.3
マンション系ハッテン場	15.1	22.9	22.4	17.4
出会い系サイト	40.2	46.4	43.1	49.5
携帯用出会い系サイト	26.3	31.2	33.1	23.0
PC用出会い系サイト	27.0	35.4	41.0	29.5
プログラム接触状況				
dista認知	-	26.2	44.4	33.6
SaL+入手経験と入手先	-	38.2	52.0	33.4
ゲイバー	-	20.5	34.6	23.4
街頭・イベント	-	13.4	12.4	5.5
ディスタ	-	6.5	10.2	6.1
ゲイショップ	-	5.6	-	6.6
ハッテン場	-	2.4	-	5.0
HIV/STI予防知識の正答率				
HIVの延命治療	62.0	63.4	59.1	55.6
検査ウインドウ期	71.5	79.9	80.2	77.1
コンドーム耐性	-	55.0	58.4	50.9
STI感染の影響	60.8	71.9	71.3	68.9
梅毒の易感染性	-	86.0	86.0	81.5
自身のエイズにかかる可能性				
絶対ない	9.7	9.6	8.0	10.8
ほとんどない	25.1	30.5	32.0	31.0
五分五分	27.3	28.5	27.7	24.7
十分可能性がある	20.6	19.7	19.1	19.8
わからない	17.4	11.8	13.2	13.6
特定相手とのゴム使用頻度 (n=207) (n=340) (n=292) (n=371)				
無回答	5.3	5.0	4.1	5.1
全く不使用	23.7	24.7	15.8	14.6
不使用多い	4.3	3.2	5.1	4.0
半々	19.8	16.2	18.5	9.2
使用多い	1.0	4.7	5.1	5.9
毎回使った	45.9	46.2	51.4	61.2
不特定相手とのゴム使用頻度 (n=138) (n=294) (n=256) (n=335)				
無回答	8.0	5.8	4.7	6.0
全く不使用	8.7	10.2	5.9	8.7
不使用多い	3.6	3.4	2.0	3.6
半々	15.2	11.2	16.0	6.3
使用多い	8.0	10.2	9.4	9.0
毎回使った	56.5	59.2	62.1	66.6
最後のアナル時ゴム使用				
特定相手	-	45.6	65.3	46.8
不特定相手	-	65.3	76.5	54.7
コンドーム購入経験と購入先				
ドラッグストア等	-	35.2	41.4	53.7
コンビニ等	-	19.0	22.2	27.1
ゲイショップ	-	10.0	11.5	13.7
ハッテン場	-	7.1	9.3	11.1
その他	-	4.4	5.5	9.3
抗体検査受検経験と受検先				
病院・クリニック	34.3	31.4	35.7	38.0
保健所・保健センター	10.8	10.1	10.0	11.7
木曜の夜間検査	13.0	15.3	15.2	15.6
土曜午後の検査	2.3	2.5	2.2	0.7
日曜午後の検査	-	2.5	4.9	2.8
名古屋のイベント検査	-	-	0.8	3.1
その他	1.8	1.7	3.6	3.0
その他	1.3	1.0	1.2	2.2

数値の単位は%(年齢を除く)